

秋田県文化財調査報告書第43集

国営総合農地開発事業・鹿角北東地区
遺跡分布調査報告書

1977. 3.

秋田県埋蔵文化財センター

秋田県教育委員会

序

鹿角北東地区国営総合農地開発事業は、鹿角北東部の丘陵地帯、約3,200ヘクタールにおよぶ地域で、圃場整備、畑地造成等を行なおうとするもので、昭和54年度から着工され~~ま~~す。

この地域は特別史跡大湯環状列石をはじめ、周知の遺跡が多数所在するところで、開発事業と調整をはかりつつ遺跡保存の方策を得るため本年より3ヶ年計画で遺跡分布調査を計画しました。

本年度の調査では周知の遺跡の確認のほか、新たに41カ所の遺跡が発見されました。今後も分布調査を継続し、開発地域に関するより正確な資料をまとめていきたいと考えています。

調査および本報告書の刊行にあたり、大里勝藏、柳沢弘志、奥山豊の各調査員並びにご協力いただいた県立十和田高等学校社会科同好会、鹿角市教育委員会の方々に深く感謝の意を表する次第です。

昭和52年3月

秋田県教育委員会

教育長 島 山 芳 郎

目 次

序

例言

1. 調査の目的及び体制	1
2. 遺 跡 の 内 容	2
3. 遺 跡 一 覧 表	16
4. 分 布 地 図	18

〔例言〕

1. 本報告書は昭和51年度調査した国営総合農地開発事業鹿角北東地区の遺跡分布調査の報告書である。
2. 本調査は国庫補助を得て秋田県教育委員会が主体となって進めたものである。
3. 調査は開発計画面積3,200ヘクタールの内1,300ヘクタールを調査したものである。
4. 本報告書は調査員から提出された調査カードをもとにして秋田県教育庁文化課が編集したものである。

1. 調査の目的及び体制

1. 目的

鹿角北東地区当該事業の計画されている地域は国指定特別史跡大湯環状列石をはじめ周知の遺跡が多数所在する場所である。そこで基盤整備事業が実施される以前に、この地区の分布調査を実施し、遺跡の周知徹底と保護対策をたてることを目的に4ヶ年計画で分布調査を実施するものである。

(参考) 総合農地開発事業は農林省、東北農政局が主体者となって調査、実施計画策定、工事着工するもので、その予定は次のとおりである。

昭和50年～昭和52年	全体計画期間
昭和53年～昭和54年	全体実施計画書作成
昭和55年度以降	工事着工

2. 計画の概要

(1) 調査主体 秋田県教育委員会

(2) 調査対象地域

鹿角北東地区A(鹿角市風張・根市・宮野平・二本柳・中草木・保田・幸右衛門新田・雁府・下草木・菩提野など)

(3) 面積 A地区 約1,300ha

昭和52年度調査予定	B地区	約600ha
昭和53年度調査予定	C地区	約500ha
昭和54年度調査予定	D地区	約800ha

(4) 実施の方法

表面採集を主とするも、必要に応じてボーリング調査、地点発掘をおこない遺跡の範囲を確認する。

(5) 調査員

氏名	住所	勤務先
大里勝蔵	鹿角市十和田字毛馬内15	十和田高校
奥山豊	〃 大湯字大足	十和田高校大湯分校
柳沢弘志	〃 花輪字赤川端20	八幡平小学校

(6) 調査期間

昭和51年6月1日～昭和51年9月30日

2. 遺跡の内容

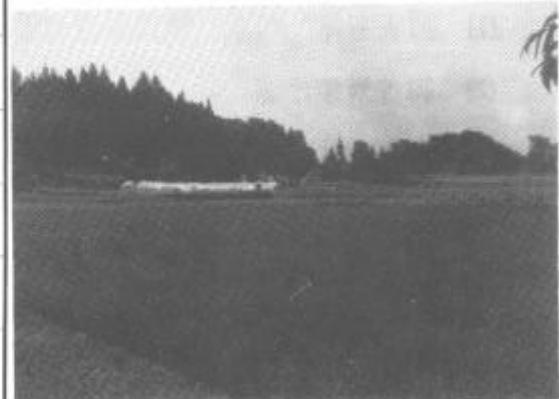
No	1	遺跡名	狐崎 I
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代後期
所在地	鹿角市十和田大湯字狐崎89		
立地	大湯川河岸段丘 風張台地西側先端部		
範囲	300㎡		



出土品, その他

- 土器片4~5点
- 西側に面した緩やかな段丘で陸稲畑にのみ遺物が発見される。場所から推定して、相当の遺物があると思われるが、表面採集では発見できなかった。周辺に石組遺構の情報がある。

No	2	遺跡名	下夕屋布
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代中期末 続縄文時代
所在地	鹿角市十和田大湯字下夕屋布50の5		
立地	大湯川河岸段丘 風張台地西側先端部		
範囲	約300㎡		



出土品, その他

- 土器破片
- 陸稲畑で数点発見された。附近の人の話ではこの辺りから土器片が発見されたとの事であるが、表面では数多くは発見できなかった。周辺に石組遺構の情報がある。

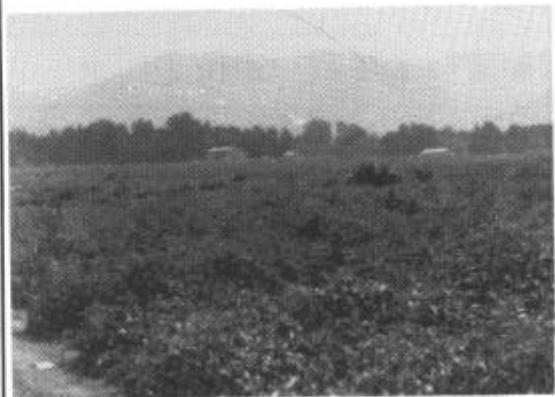
No	3	遺跡名	蛇沢 I
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代中期 平安時代
所在地	鹿角市花輪字蛇沢3・18・33の6		
立地	菩提野遺跡と対峙する雁府部落の舌状台地		
範囲	約1,500㎡		



出土品, その他

- 土器片5~6点・石器
- 古くから知られていた場所であるが、特に開田のための堰を掘る際にたくさんの土器が出土した。なお5㎡位の範囲で住居跡と思われる凹地があったと言われている。

No	4	遺跡名	山 道
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	古墳時代～平安時代
所在地	鹿角市花輪字山道6の2		
立 地	平元小学校より級ノ木へ800m程の左側の台地		
範 囲	約 1,500㎡		



出土品, その他

- 土師器片
- 採集地点から北側50mの所にチャシらしき跡がある。水源が近くにある。

No	5	遺跡名	保 田 Ⅰ
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄文時代～弥生時代
所在地	鹿角市十和田草木字保田34		
立 地	根市川の南側の舌状台地で保田部落の東2.3km		
範 囲	約 1,000㎡		



出土品, その他

- 土器片数点 縄文、弥生（田舎館）
- 根市川をはさんで中草木部落と対峙する台地で、保田部落の中間附近。以前から小学生の盗掘地であった。保田Ⅱ遺跡に隣接する。

No	6	遺跡名	保 田 Ⅱ
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄文時代後期
所在地	鹿角市十和田草木字保田49の2		
立 地	中草木部落から新田方向へ1km程南行する保田部落の左手		
範 囲	約 300㎡		



出土品, その他

- 土器片4～5点
- 中草木部落と対峙する保田部落のほぼ中央、新田に向かって左側。道路をはさんで右側にも土器が相当数発見されているということである。

No.	7	遺跡名	丸館表
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代後・晩期 平安時代
所在地	鹿角市十和田草木字丸館表8		
立地	下草木部落を南東に見る大規模農道東側の舌状台地		
範囲	約 300 m ²		



出土品, その他

- 土器片細文(後期・晩期)土師器片
- 以前からよく知られている所。サクランボの木の下を掘ると、すぐ土器片が見つかる。館表遺構の一部であったが、北方は開田により破壊されている。農道調査地と道路を隔てている。

No.	8	遺跡名	砂派
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	平安時代
所在地	鹿角市十和田草木字砂派42		
立地	菩提野遺跡から北へ約300m東側の台地		
範囲	約 1,000 m ²		



出土品, その他

- 土師器片2点
- 菩提野遺跡に近く、表面採集が期待できるものの造成(田んぼ)が激しく、困難である。

No.	9	遺跡名	沢尻 I
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代中期
所在地	鹿角市十和田大湯字沢尻21		
立地	根市と宮野台農道のほぼ中間の東向斜面のリンゴ畑		
範囲	約 1,500 m ²		



出土品, その他

- 土器片数点
- 扇状地らしき東向斜面のゴボウ畑で、附近はリンゴ畑となっている。最近造成して田地をつくったらしく掘り返しが激しい。沢尻Ⅱ遺跡に隣接している。

No.	10	遺跡名	沢尻Ⅰ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代
所在地	鹿角市十和田大湯字沢尻23の1		
立地	根市と宮野平との農道のほぼ中間の東向斜面台地		
範囲	約 1,500㎡		



出土品, その他

- 土器片・陶器片
- 最近、開田された田があり、その田に客土を利用した際、露出した部分に土器片を発見した。

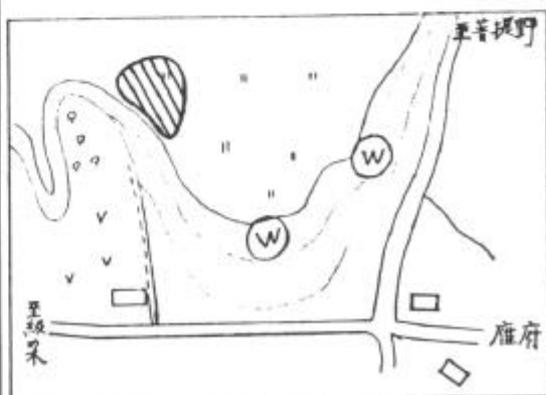
No.	11	遺跡名	谷地中
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代中期
所在地	鹿角市花輪字谷地中60の3		
立地	小枝指部落から級ノ木部落へ向う新農道の右手の台地		
範囲	約 1,500㎡		



出土品, その他

- 土器片・土師器片・須恵器片
- 一見してチャシと空濠と思しき台地である。

No.	12	遺跡名	高間館
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	水田	時代	縄文時代
所在地	鹿角市花輪字高間館12		
立地	菩提野扇状地の雁府部落の西方の一角		
範囲	約 2,000㎡		



出土品, その他

- 土器片
- 雁府部落で開田のためあぜを掘った際、多数の土器片が出土したという事である。

No.	13	遺跡名	蛇 沢 II
種 別	住 居 跡	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄 文 時 代 中 期 平 安 時 代
所在地	鹿角市花輪字雁府蛇沢18		
立 地	菩提野遺跡と対峙する雁府部落の舌状台地西側		
範 囲	約 10 m ²		



出土品, その他

- 縄文土器片、土師器片数点
- 古老の話では戦後数十年の間、住居跡らしい凹地があったという事である。

No.	14	遺跡名	菩 提 野 II
種 別	住 居 跡	土地所有	民 有
現 況	山 林	時 代	
所在地	鹿角市花輪字菩提野		
立 地	雁府部落と菩提野の間地点で西側に張り出した舌状台地		
範 囲	約 15 m ²		



出土品, その他

- 石器2点
- 案内人によれば、かなり早くから凹地があり、現状は維持されていたが、戦後資材投棄でかなり荒らされた。確たる物証はないが、石器数点を所有しているとのことである。

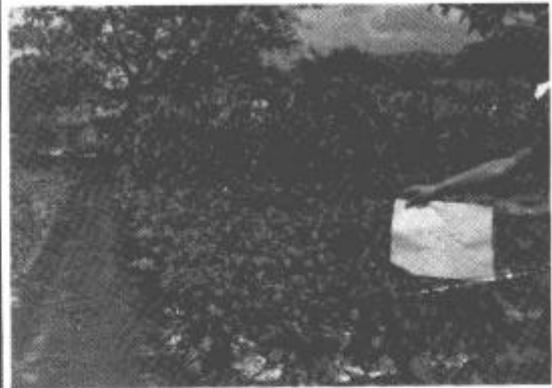
No.	15	遺跡名	保 田 III
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄 文 時 代
所在地	鹿角市十和田草木字保田51		
立 地	根市川南岸沿いの河岸段丘、保田橋より幸右衛門新田方向へ300 m		
範 囲	約 20 m ²		



出土品, その他

- 土器片数点
- 昭和49年にハウス建設の際、段ボール箱1つ分の土器が出土したとのことであるが、現在ハウスの周辺からは遺物はほとんど採集できなかった。

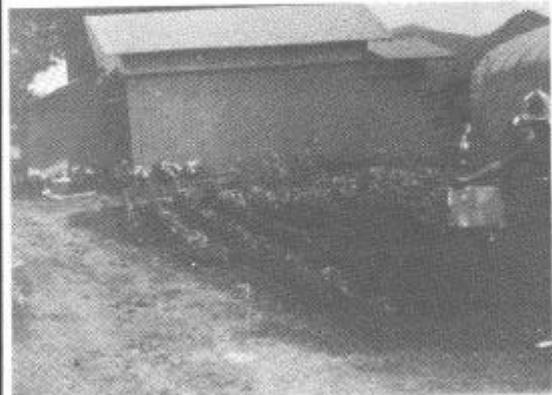
No.	16	遺跡名	保田Ⅳ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代	
所在地	鹿角市十和田草木字保田50の1			
立地	根市川南岸沿いの河岸段丘、保田橋より幸右衛門新田方向へ300m			
範囲	約20㎡			



出土品、その他

- 土器片数点
- 保田Ⅲ遺跡と道路を隔てて向かいあっており共通性をもっていると思われる。

No.	17	遺跡名	保田Ⅴ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代	
所在地	鹿角市十和田草木字保田49の12			
立地	根市川南岸沿いの河岸段丘、保田橋より幸右衛門新田方向へ350m			
範囲	約20㎡			



出土品、その他

- 土器片数点
- 保田の他の遺物包含地の延長上にあり、共通性をもつと思われる。

No.	18	遺跡名	馬伏谷地Ⅱ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	平安時代	
所在地	鹿角市十和田草木字馬伏谷地30			
立地	中草木の十字路より宮野平方面へ400m、根市川右岸沿いの段丘地域			
範囲	約50㎡			



出土品、その他

- 土師器片
- 中草木・宮野平を結ぶ道路のすぐ東側の畑地である。

No.	19	遺跡名	馬伏谷地Ⅲ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	平安時代	
所在地	鹿角市十和田草木字馬伏谷地69			
立地	中草木の十字路より宮野平方面へ500m			
範囲	約25㎡			



出土品, その他

- 土師器片
- 土地所有者によれば、以前はかなりの多くの遺物を見つけたということであるが、現在は、表面採集の結果、数点しか発見できなかった。

No.	20	遺跡名	上屋布	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代後期	
所在地	鹿角市十和田大湯字上屋布13			
立地	豊真木沢川左岸沿いの丘陵地域、根市と二本柳を結ぶ市道の最標高208m地点より西へ50m			
範囲	約100㎡			



出土品, その他

- 土器片
- 山林に囲まれた開墾地で、緩斜面上に土器片が散布していた。

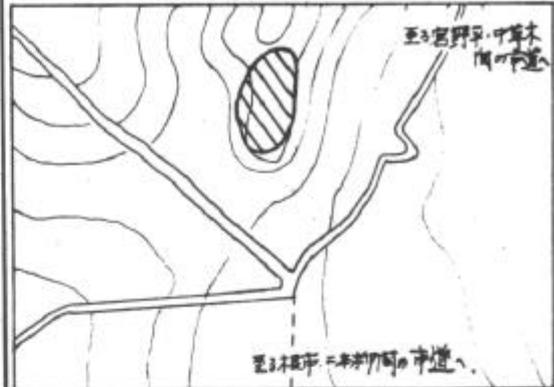
No.	21	遺跡名	大谷地開拓Ⅰ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代	
所在地	鹿角市十和田大湯字大谷地開拓			
立地	豊真木沢川左岸沿いの丘陵地域、根市と二本柳を結ぶ市道の最標高208m地点より西へ50m			
範囲	約20㎡			



出土品, その他

- 土器片
- 緩斜面の畑地であり、表面採集の結果、数点しか発見できなかった。

No.	22	遺跡名	大谷地開拓Ⅱ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	原野	時代	縄文時代後期	
所在地	鹿角市十和田大湯字大谷地開拓			
立地	豊真木沢川左岸沿いの丘陵地帯の南向斜面			
範囲	約 80㎡			



出土品, その他

- 土器片
- 南向斜面を開墾した土地であり、土器片がかなり広範囲に散布している。ただし、ブルドーザーにより攪乱されている。

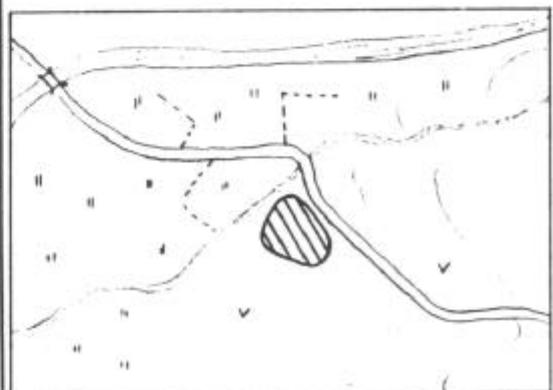
No.	23A	遺跡名	竹柄Ⅰ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代	
所在地	鹿角市十和田草木字竹柄3			
立地	草木川左岸段丘、菩提野扇状地北部扇端			
範囲	約 900㎡			



出土品, その他

- 土器片
- 4年程前に天地返しをした際、人がひとりくらい入れるピットがあったということである。ただし遺物は出土しなかった。

No.	23B	遺跡名	竹柄Ⅱ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代		
所在地	鹿角市十和田草木字竹柄5			
立地	草木川左岸段丘端。中草木橋より190m東南			
範囲	約 2,500㎡			



出土品, その他

- 長さ25cm程の柱状角石が出土している。
- 住居跡の可能性はある。

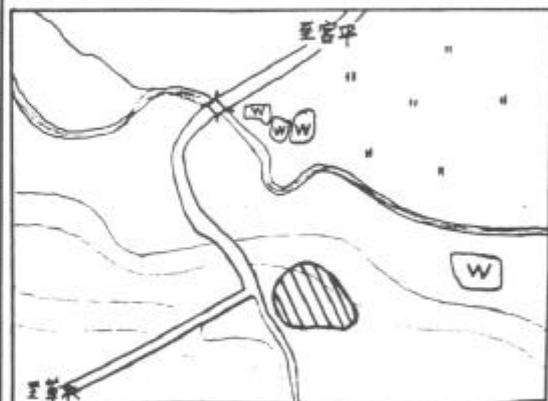
No.	24	遺跡名	崩原
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代後期
所在地	鹿角市十和田草木字崩原24の2		
立地	草木川左岸段丘端、竹柄遺跡と農道をはさんで対峙する。		
範囲			



出土品, その他

- 土器片
- 組石に利用されたと思われる石が2個出土している。組石遺構・住居跡の可能性はある。

No.	25	遺跡名	川原
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代
所在地	鹿角市十和田大湯字川原		
立地	豊真木沢川左岸段丘、対岸に黒又山が迫っている		
範囲			



出土品, その他

- 土器片
- 耕作により遺物が地表に散布している。根市部落附近までの段丘端は要注意。住居跡の存在が予想される。

No.	26	遺跡名	草木
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代中期
所在地	鹿角市十和田草木字草木15の2		
立地	中草木～二本柳間の道路北側、草木川右岸段丘		
範囲	約 100㎡		



出土品, その他

- 土器片・石器
- 周辺の耕地からは深耕の際に遺物の出土が多いということである。

No	27	遺跡名	松 舟
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄 文 時 代 後 期
所在地	鹿角市十和田草木字松舟24の1		
立 地	中草木～二本柳間道路北側、草木川右岸段丘		
範 囲	約 2,500㎡		



出土品、その他

- 土器片
- 大規模な遺跡の可能性はある。

No	28	遺跡名	和 町 I
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄 文 時 代 後 期
所在地	鹿角市十和田大湯字和町107の1		
立 地	農免道路大川原～根市線と寺の沢林道の交点の東側		
範 囲	約 100㎡		



出土品、その他

- 土器片

No	29	遺跡名	和 町 II
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄 文 時 代 前 期
所在地	鹿角市十和田大湯字和町34		
立 地	農免道路大川原～根市支線、寺の沢林道より約450㎡西方		
範 囲	約 100㎡		



出土品、その他

- 土器片

No	30	遺跡名	和町Ⅲ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代
所在地	鹿角市十和田大湯字和町37の1		
立地	農免道路大川原根市文線南側		
範囲	約 225㎡		



出土品, その他

- 土器片
- 起伏に富み、周囲に遺物の出土が多いという。

No	31	遺跡名	長根外レⅠ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代前期
所在地	鹿角市十和田大湯字長根外レ23		
立地	豊真木沢川左岸段丘、小丘陵北麓		
範囲	下モ大屋布を含め広範囲		



出土品, その他

- 土器片
- 豊真木川の沖積地を隔てて対岸の黒又山と対峙している。住居跡等の大規模な遺跡が予想される。

No	32	遺跡名	長根外レⅡ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代
所在地	鹿角市十和田大湯字長根外レ21		
立地	豊真木沢川左岸段丘、小丘陵北麓		
範囲	下モ大屋布を含め広範囲		



出土品, その他

- 土器片、石器
- 豊真木川の沖積地を隔てて対岸の黒又山と対峙している。住居跡等の大規模な遺跡が予想される。

No	33	遺跡名	下モ大屋布	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代後期 平安時代	
所在地	鹿角市十和田大湯字下モ大屋布15の2			
立地	豊真木沢川左岸段丘端、農道より150m北			
範囲	段丘端より南方山麓までは東西への広がりも含め広範囲			



出土品, その他

- 土器片、土師器片、石器
- 丘陵北麓より段丘端までの遺跡の範囲は、東は根市～二本柳間の道路、西は宮野平草木間の道路と予想される。

No	34	遺跡名	古館	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代前期	
所在地	鹿角市十和田大湯字古館29			
立地	風張台地北端の山上平坦地、在郷板頂上北			
範囲	約 8,000㎡			



出土品, その他

- 土器片
- 大湯鹿倉城跡のある台地の南東端

No	35	遺跡名	狐崎Ⅱ	
種別	遺物包含地	土地所有	民有	
現況	畑地	時代	縄文時代晩期	
所在地	鹿角市十和田大湯字狐崎			
立地	風張台地北端、鹿倉山西麓			
範囲	約 625㎡			



出土品, その他

- 土器片

No	36	遺跡名	長根外レⅢ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代中期
所在地	鹿角市十和田大湯字長根外レ17		
立地	豊真木沢川左岸段丘、丘陵北麓		
範囲	約 2,500㎡		



出土品, その他

- 土器片
- 豊真木沢川の沖積地を隔てて、対岸の黒又山と対峙している。住居跡等の大規模な遺跡が予想される。

No	37	遺跡名	長根外レⅣ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	平安時代
所在地	鹿角市十和田大湯字長根外レ17		
立地	豊真木沢川左岸段丘、丘陵北端		
範囲	約 750㎡		



出土品, その他

- 土師器片
- 豊真木沢川の沖積地を隔てて、対岸の黒又山と対峙している。住居跡等の大規模な遺跡が予想される。

No	38	遺跡名	堤尻Ⅰ
種別	遺物包含地	土地所有	民有
現況	畑地	時代	縄文時代
所在地	鹿角市十和田大湯字堤尻		
立地	風張台地北東、黒又山独立丘陵西山麓		
範囲	約 625㎡		



出土品, その他

- 土器片、石器
- 耕作により遺物が地表に散布されている。住居跡の存在が予想される。

No	39	遺跡名	堤 尻 II
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄文時代中期～後期
所在地	鹿角市十和田大湯字堤尻		
立 地	風張台地北東黒又山西麓		
範 囲	約 2,500㎡		



出土品、その他

- 土器片
- 耕作による遺物が地表に出土している。住居跡の存在が予想される。

No	40	遺跡名	長 根 外 レ V
種 別	遺物包含地	土地所有	民 有
現 況	畑 地	時 代	縄 文 時 代
所在地	鹿角市十和田大湯字長根外レ		
立 地	風張台地北東、黒又山西山麓、田大湯中南側		
範 囲	約 2,500㎡		



出土品、その他

- 土器片、土師器片
- 耕作により遺物が地表に出土している。住居跡の存在が予想される。

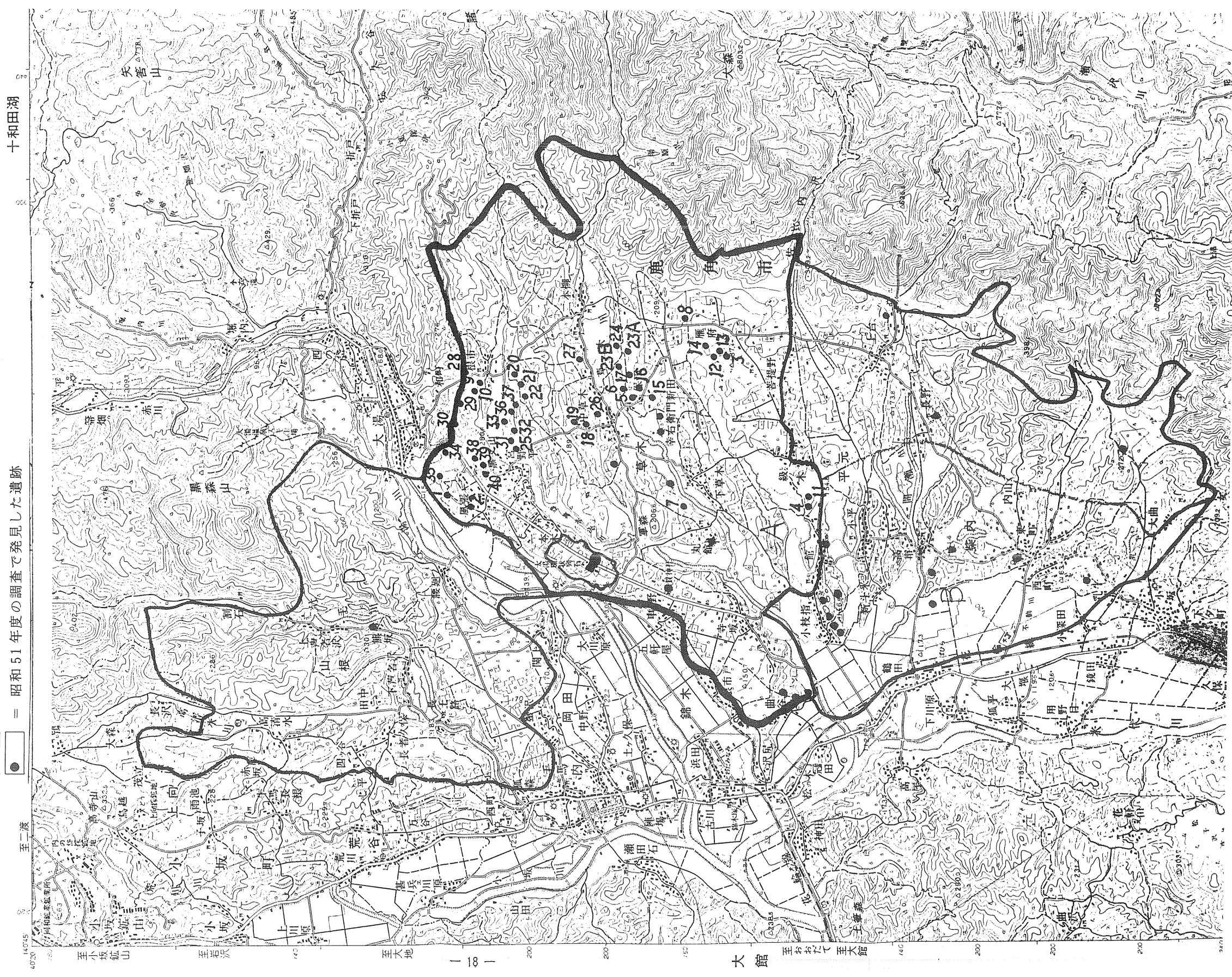
3. 遺跡一覽表

No	遺跡名	所在地	種別	現況	土地所有者	遺構・遺物	備考
1	狐崎Ⅰ	秋田県鹿角市大湯字狐崎89	遺物包含地	畑地	民有	縄文後期、近くに配石の 情報あり	(面積) 約 300㎡
2	下夕屋布	十和田大湯 字下夕屋布50の5	"	"	"	縄文中期、統縄文	約 300
3	蛇沢Ⅰ	花輪字蛇沢 3.18.33の6	"	"	"	縄文中期、土師器	約1,500
4	山道	花輪 字山道6の2	"	"	"	古墳～古代(平安)	約1,500
5	保田Ⅰ	十和田草木 字保田34	"	"	"	縄文～弥生	約1,000
6	保田Ⅱ	49の2	"	"	"	縄文後期	約 300
7	丸館表	字丸館表8	"	"	"	縄文後期、晩期、土師器	約 300
8	砂派	字砂派42	"	"	"	古墳期～古代(平安)	約1,000
9	沢尻Ⅰ	十和田大湯 字沢尻21	"	"	"	縄文中期	約1,500
10	沢尻Ⅱ	23の1	"	"	"	縄文時代、中世	約1,500
11	谷地中	花輪 字谷地中60の3	"	"	"	縄文中期、古墳～古代	約1,500
12	高間館	花輪 字高間館12	"	水田	"	縄文時代	約1,500
13	蛇沢Ⅱ	花輪 字雁府蛇沢18	住居跡	畑地	"	縄文中期、古墳～平安	約 10
14	菩提野Ⅱ	花輪 字菩提野	"	山林	"	縄文時代	約 15
15	保田Ⅲ	十和田草木 字保田51	遺物包含地	(ハウス) 畑地	"	縄文時代	約 20
16	保田Ⅳ	50の1	"	畑地	"	縄文時代	約 20
17	保田Ⅴ	49の1.2	"	"	"	"	約 20
18	馬伏谷地Ⅱ	字馬伏谷地30	"	"	"	古墳期～古代(平安)	約 50
19	馬伏谷地Ⅲ	9	"	"	"	"	約 25
20	上屋布	十和田大湯 字上屋布13	"	"	"	縄文後期	約 100
21	大谷地開拓Ⅰ	字大谷地開拓	"	"	"	縄文時代	約 20
22	大谷地開拓Ⅱ	十和田大湯 字大谷地開拓	"	原野	柳沢義人	縄文後期	約 80
23A	竹柄Ⅰ	十和田草木 字竹柄3	"	畑地	民有	縄文時代	約 900
23B	竹柄Ⅱ	5	"	畑地(陸稲)	"	住居跡?縄文時代	約2,500
24	崩原	字崩原24の2	"	"()	"	組石、住居跡?、縄文後期	
25	川原	十和田大湯 字川原	"	"	宮沢栄吉	住居跡?、縄文時代	
26	草木	十和田草木 字草木15の2	"	"	民有	縄文中期	約 100
27	松舟	字松舟24の1	"	"	"	縄文後期	約2,500
28	和町Ⅰ	十和田大湯 字和町107の1	"	"	"	縄文後期	約 100
29	和町Ⅱ	字和町34	"	"	"	縄文前期	約 100
30	和町Ⅲ	37の1	"	"	"	縄文時代	約 225
31	長根外Ⅰ	字長根外Ⅰ23	"	"	"	縄文前期	(広い)
32	長根外Ⅱ	21	"	"	"	縄文時代	

No	遺跡名	所在地	種別	現況	土地所有者	遺構・遺物	備考
33	下モ大屋布	" 字下モ大屋布15の2	遺物包含地	畑地	民有	縄文後期、古墳～古代	(広い)
34	古館	" 字古館29	"	"	"	縄文前期	約8,000
35	狐崎Ⅱ	" 字狐崎	"	"	"	縄文晩期	約 625
36	長根外Ⅲ	" 字長根外Ⅲ17	"	"	"	縄文中期	約2,500
37	長根外Ⅳ	"	"	"	"	古墳～古代(平安)	約 750
38	堤尻Ⅰ	" 字堤尻	"	"	"	住居跡?、縄文時代	約 625
39	堤尻Ⅱ	"	"	"	柳沢義徳	縄文中期末～後期	約2,500
40	長根外Ⅴ	" 字長根外Ⅴ	"	"	柳沢忠太郎	縄文時代、古墳～古代	約2,500

4. 遺跡分布図

- = 調査計画範囲
- = 昭和51年度調査区域
- = 周知の遺跡
- = 昭和51年度の調査で発見した遺跡



十和田湖

至二渡

40°20'

140°45'

至小坂新山

至岩浜

140

至大地

130

120

110

100

90

80

70

60

50

40

30

20

10

0

10

20

30

40

50

60

70

80

90

100

110

120

130

140

150

160

170

180

190

200

210

220

230

240

250

260

270

280

290

300

310

320

330

340

350

360

370

380

390

400

410

420

430

440

450

460

470

480

490

500

510

520

530

540

550

560

570

580

590

600

610

620

630

640

650

660

670

680

690

700